

環境衛生管理の検証における ATP 検査の効果的な活用事例 ～検査結果を基に治療用チェアユニットの拭掃手順を改善～



医療編

医療法人社団成扶会・馬見塚デンタルクリニック

歯科医院の治療後のチェアユニット周辺は、患者の口腔内から飛散した汚れ、治療に用いた水分の飛沫、それらがスタッフ（歯科衛生士や歯科衛生士）の手指を介して拡散した汚れなど、さまざまな汚れが拡散している。そのため、治療後のユニット周囲は、次の患者が使う前に効果的な拭掃をしなければならない。しかし、拭掃した箇所が効果的に洗浄・消毒されたかどうかは目視では確認できないため、スタッフが「きちんと拭掃した『つもり』だが、本当に効果的な拭掃ができているか？」といった不安を抱えている場合もある。

成扶会・馬見塚デンタルクリニックでは、ATP ふき取り検査を用いて既存の拭掃効果の検証を行い、より適切な拭掃手順の検討に取り組んだ。本稿では、検証結果の概要のほか、検証結果に基づいて「効果的な拭掃手順」を確立・定着するまでの経緯などを紹介している。現在、同院では、スタッフ間で感染管理に対する高い意識が共有されているという。